

科目名		人間工学特論	
科目責任者	榎原 毅	(人間工学 教授)	
担当者	谷直道	(人間工学 講師)	
開講時期:	1～2年次	単位数:	6 単位
		時間数:	90分× 45 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>産業医学における人間工学の果たす役割について、その基本的な考え方などについて理解するとともに、作業管理の現場において応用できる知識の習得を目指す。国際標準の人間工学コアコンピテンシーの基礎を習得し、安全・健康といったwell-beingと労働生産性・品質といったパフォーマンスの適正化視点を獲得する。論文抄読ゼミを通じて論文の読み方・構成・論理展開の基礎習得から、人間工学研究の最新動向に触れることで研究者のマインドセットの醸成を図る。また、疫学・生物統計学の基礎的な知識と研究デザインを理解し研究計画を立案できる能力を習得する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人間工学で知っておくべき基礎知識を概説できる。 2) 人間工学のコアコンピテンシーを説明できる 3) 作業管理の社会実装に求められるシステムズ・アプローチを説明できる。 4) ステークホルダとシステムの機能配分の考え方(適正化)を概説できる。 5) 各論①:ヒューマンエラーの特徴および対策について説明できる。 6) 各論②:生体力学・人体寸法測定の原則を解説できる。 7) 各論③:人間の身体的・認知的・行動的諸特性について説明できる。 8) 各論④:人間中心設計・UXデザインの基礎を解説できる。 9) 各論⑤:参加型改善および産業疲労について説明できる。 10) 各論⑥:疫学・統計学の基礎と研究デザインについて説明できる。 			
● 評価方法	人間工学研究室における論文抄読会・研究検討会等、もしくは単位互換制度向け人間工学特論の受講における討論・発表50%、レポート50%で評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		

授 業 項 目 (内 容)
人間工学で知っておくべき基礎知識
人間工学コアコンピテンシー
well-being/performanceの適正化とシステムズ・アプローチ
ステークホルダとシステムの機能配分
安全と社会技術システム
ヒューマンエラーの特徴と対策
生体力学・人体寸法測定の基礎
人間の身体的・認知的・行動的諸特性
人間中心設計・UXデザイン・デザイン思考
参加型改善(PAOT)の基礎
産業疲労の評価法と対策
タスク分析とマクロアーゴノミクス
システム安全・信頼性設計
事故防止の考え方(SAFETY I/II)
Sustainable Ergonomics/Green Ergonomics